2025年度　上期

２０２６年5月２６日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	みやぎ・とめ食育 Labo	
代表者名	西條明日香	
連絡先 TEL：０９０－ ５１８９－ １５３２ FAX：		E-mail：m.tome.s.labo@gmail.com

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	みやぎ・とめ子ども食堂
事業の目的	本事業は、「世代をつなぐごはんの時間」をテーマに、子どもを中心に地域住民が気軽に集い、温かい食事を囲みながら交流できる居場所づくりを目的とする。栄養バランスの取れた食事の提供を通して、子どもの健やかな成長を支えるとともに、孤食や地域での孤立を防ぐ。さらに、高齢者や保護者、ボランティアなど多世代が関わることで、世代間交流や食文化の継承、地域のつながりを深め、互いに支え合える地域づくりにつなげる。
事業の具体的内容	毎月第二土曜日に子ども食堂を開催し、子どもは無料、大人は 300 円で温かい食事を提供している。毎回約 50 名の参加者と 10 名程度のボランティアスタッフが協力し、安心して過ごせる居場所づくりを行っている。会食形式で食事を共にすることで、子どもたちの孤食を防ぎ、親子交流や地域住民との世代間交流を深めている。さらに、食育体験として、地元食材を活用した調理体験や食に関する学びの機会を取り入れ、食への関心や感謝の気持ちを育んでいる。食事の提供にとどまらず、参加者同士の会話やふれあいを通して、地域とのつながりを感じられる、誰もが気軽に集える温かな交流の場づくりを進めている。

活動の開始から完了までの流れ	事業実施にあたり、開催日程や内容を決定し、スタッフ・ボランティアで役割分担を行った。あわせて、食材や必要物品の準備、地域への周知や参加者募集を実施した。当日は会場設営や調理準備を行い、参加者を安心して迎えられる環境を整えた。受付後、子どもや保護者、地域住民が一緒に会食し、温かい食事を通して交流を深めた。また、食育体験活動を取り入れ、食材への関心や食の大切さを学ぶ機会を設けた。活動終了後は会場の片付けを行い、スタッフ間で振り返りを実施し、参加者の様子や課題を共有しながら次回の活動改善につなげた。継続的な開催を通じて、地域のつながりづくりと安心して集える居場所づくりを進めた。
活動の成果と教訓	本事業を通して、子どもや保護者、地域住民が気軽に集い、温かい食事を囲みながら交流できる場を継続して提供することができた。会食や食育体験を通じて、親子交流や世代間交流が生まれ、地域とのつながりを深める機会となった。また、参加者からは食への関心の高まりや家庭での実践につながる様子も見られた。継続的な開催には、事前準備やスタッフ間の連携、地域の協力体制が重要であることを改めて実感した。活動を通して、多くの人が関わり支え合うことで、安心して参加できる居場所づくりにつながることが大きな学びとなった。
今後の展望など	今後も子ども食堂の継続開催を通して、子どもたちが安心して食事を楽しめる居場所づくりを続けていきたい。あわせて、食育体験の内容を充実させ、食への関心や学びを深める機会を増やしていく。さらに、地域住民やボランティアとの連携を深め、多世代が自然に交流できる場として発展させたい。誰もが気軽に参加でき、地域全体で子どもたちを見守り支え合える温かな地域づくりにつなげていきたい。

2、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	270,000	
自己資金	60,848	
合計	330,848	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
食材費（助成金）	こども食堂食材	180,000	170,992
消耗品費（助成金）	衛生・調理関係消耗品、文具等	18,000	24,935
会場代	会場代	12,000	0
ボランティア交通費	ボランティア交通費 1,000円×10名×6回	60,000	60,000
備品購入費（助成金）	調理関係備品（炊飯器）本、玩具等	42,000	54,088
印刷費（助成金）	インク、コピー用紙	6,000	5,525
レクレーション保険代（助成金）	レクレーション保険6回分	24,000	15,308
合計		342,000	330,848

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。